



令和4年度フードバンク活動促進の ための情報交換会 食品ロスの現状と課題・ 削減に向けた取組について

令和5年2月21日
神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課

本日の内容

- **食品ロスの全国状況**
- **本県状況等**
- **食品ロス削減にむけた本県の施策**

1 食品ロスの全国状況

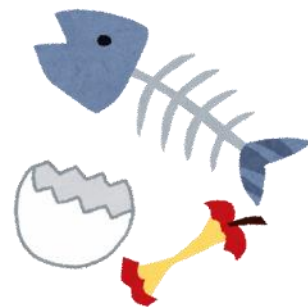
食品ロス

本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物



食品廃棄物

食品ロスに加えて、魚や肉の骨など
廃棄される食品を含んだもの



1 食品ロスの全国の状況

食品ロスには、

「事業系食品ロス」 と

「家庭系食品ロス」 があります。

事業系食品ロス

食品関連事業者等の
事業活動に伴って
排出される食品ロス

飲食店

小売店

食品製造工場

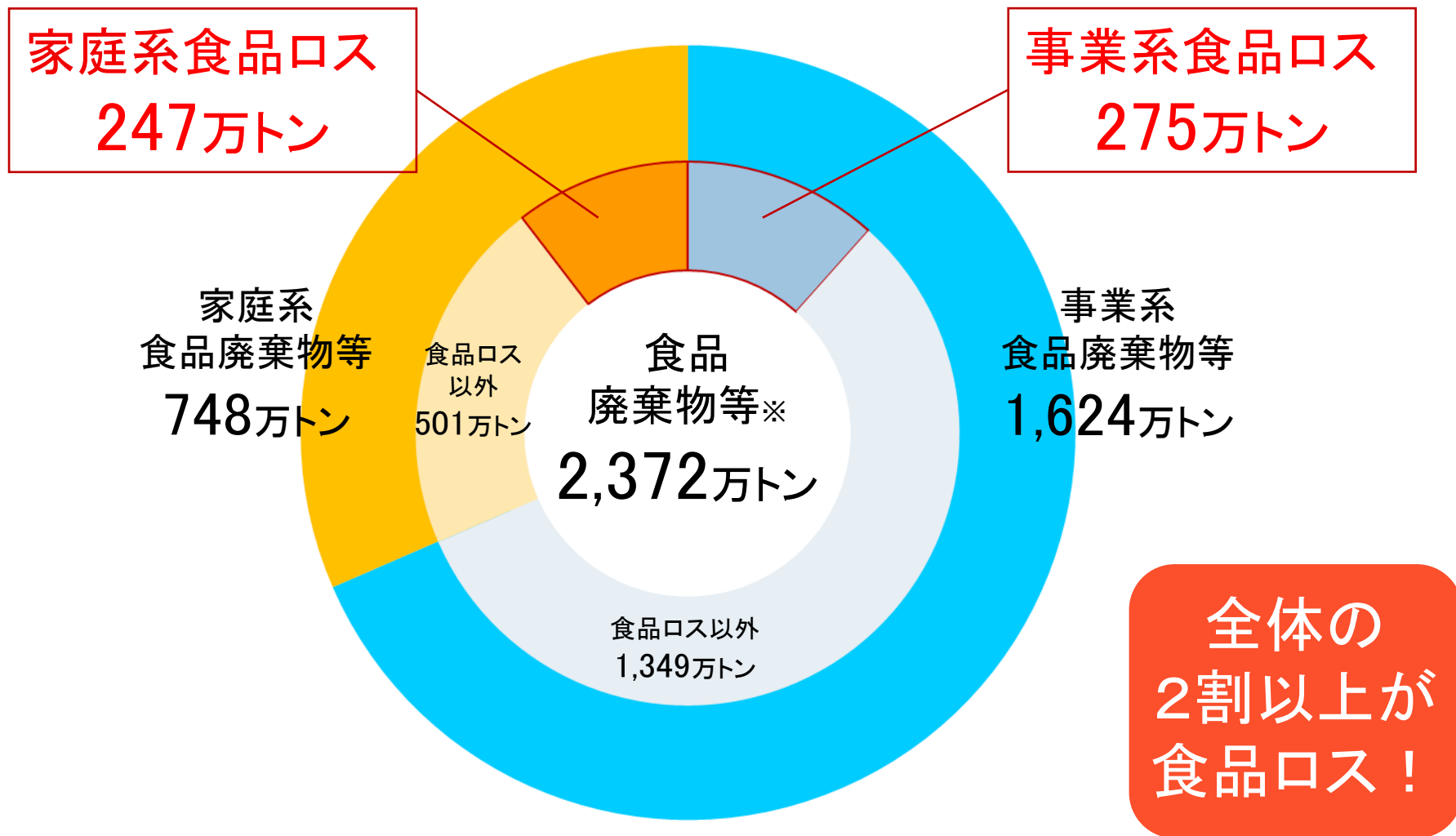
家庭系食品ロス

各家庭から発生する食品ロス

一般家庭

1 食品ロスの全国状況

日本の食品廃棄物量



※ 食品リサイクル法における食品廃棄物等（食品ロス、不可食部分、有価物を含む）

※2020年度推計値
（農水省資料より作成）

2 本県の状況等 全国との比較

○食品ロスの発生源

事業系54% 家庭系46% ⇒ **全国とほぼ同じ割合**

○県民 1 人 1 日当たりの食品ロス発生量は、

事業系・家庭系ともに全国平均を上回る

		神奈川県 (2019 年度)	全国 (2019 年度)	全国比
家庭系 食品ロス	発生量	21.1 万トン	261 万トン	8.1%
	1 人 1 日当たり	63g	57g	110%
事業系 食品ロス	発生量	24.3 万トン	309 万トン	7.9%
	1 人 1 日当たり	72g	67g	107%
合計	発生量	45.4 万トン	570 万トン	8.0%
	1 人 1 日当たり	135g	124g	109%

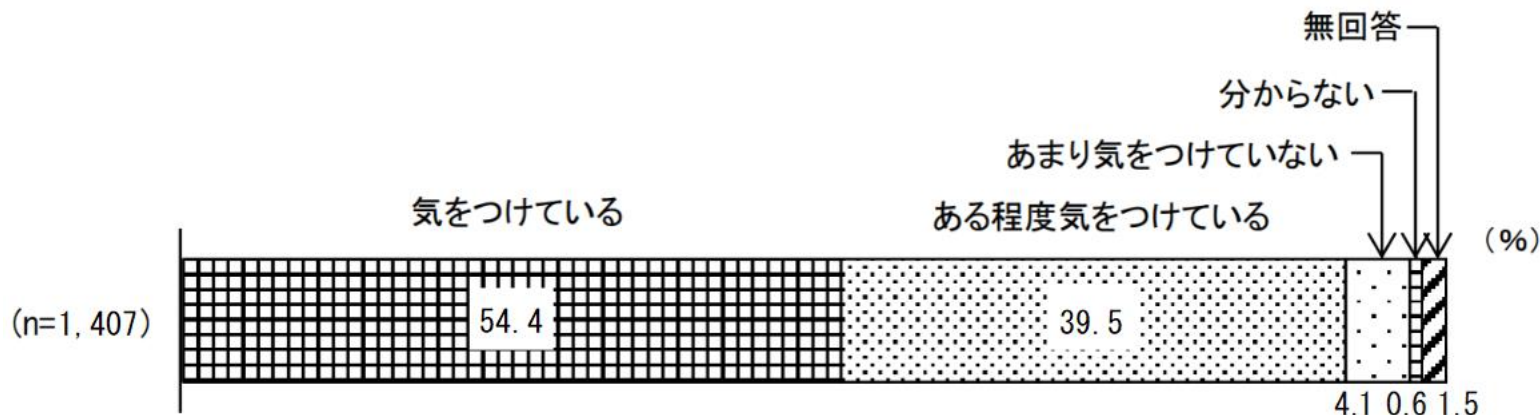
2 本県の状況等 県民意識

○食品ロスに対する県民意識

県民ニーズ調査※（2022年度）

※県民の意識・価値観などの変化や多様化する生活ニーズを的確に把握し、その結果を施策に反映するため、県が毎年度実施する調査

【問】食べ物を無駄にしないよう食べ残しや
買いすぎなどに気をつけているか。



2 本県の状況等 事業系食品ロス

○県内の事業系食品ロス発生量の推計

2019年度 **24.3万t**

※国公表の全国の商品ロス量や食品リサイクル法に基づく
食品廃棄物等の発生量調査等の結果をもとに推計

事業系食品ロス発生量【万トン】			主な発生要因
食品産業	合計		
食品製造業		9.7	規格外品、返品、 売れ残り
食品卸売業		1.7	
食品小売業		4.1	
外食産業		8.8	作り過ぎ、食べ残し

2 本県の状況等 県の課題

【事業系食品ロス】

- ・ 全国と同様に**外食産業、食品製造業の割合が高い。**

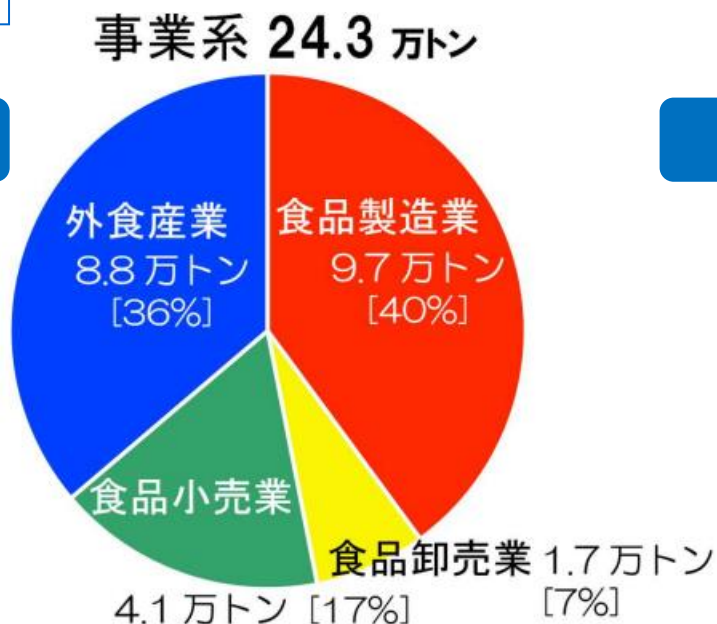
削減には



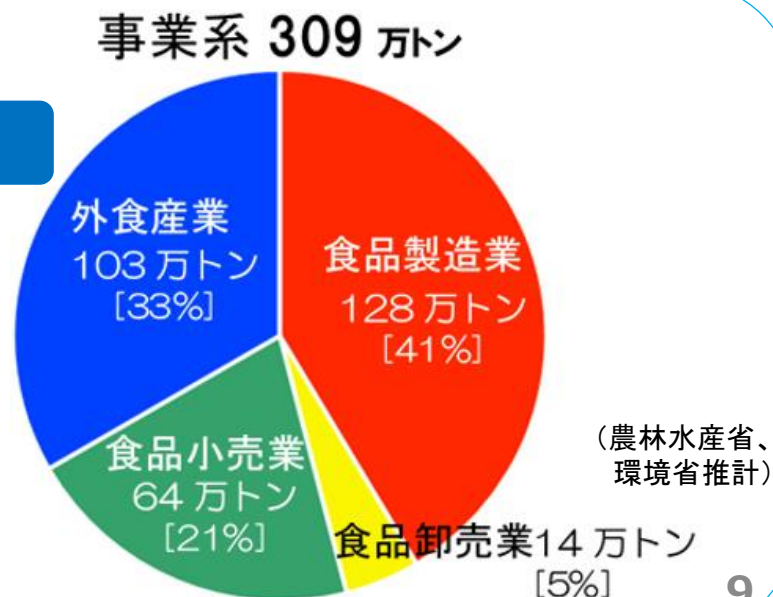
- ・ **外食産業から発生する食品ロスの削減**
- ・ **食品関連事業者が排出する規格外品等の未利用食品をフードバンク団体へ提供 等が必要**

2019年度

神奈川県



全国



2 本県の実況等 家庭系食品ロス

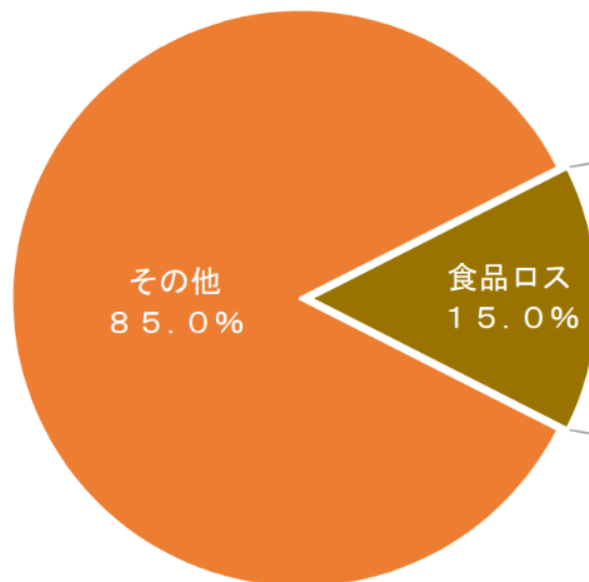
○県内の家庭系食品ロス発生量の推計

2019年度 **21.1万t**

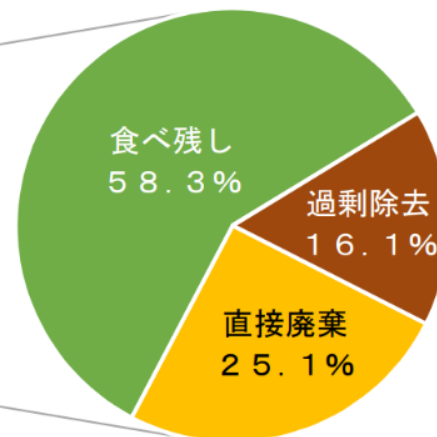
※一人一日あたり63g

※生活系ごみ(141万t)の15%相当

生活系可燃ごみに占める食品ロスの割合



食品ロスの内訳



2 本県の実況等 県の課題

【家庭系食品ロス】

- ・ 全国と比べ、「**食べ残し**」の割合が高い。
- ・ 「食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」と回答した県民の割合は、**54.4%**。

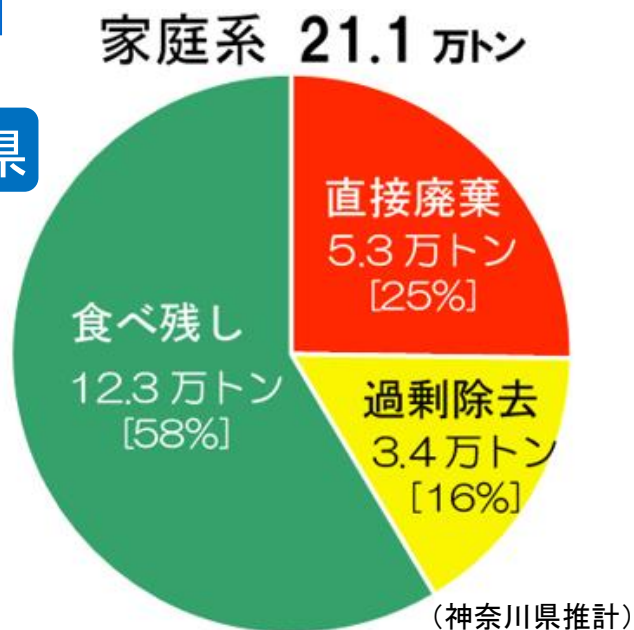
削減には



**日常生活での買いすぎ・作りすぎの抑制
食べきる習慣に関する意識啓発** 等が必要

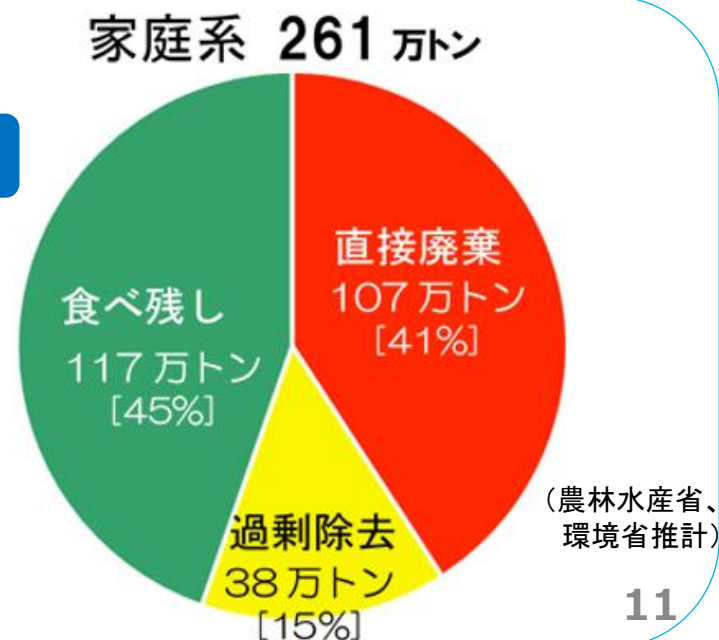
2019年度

神奈川県



Kanagawa Pr

全国



2 本県の実況等 県の問題

【事業系食品ロス】

- ・ **外食産業、食品製造業の割合が高い**

【家庭系食品ロス】

- ・ **「食べ残し」の割合が高い**
- ・ **県民に食品ロス削減の意識が十分浸透していない**

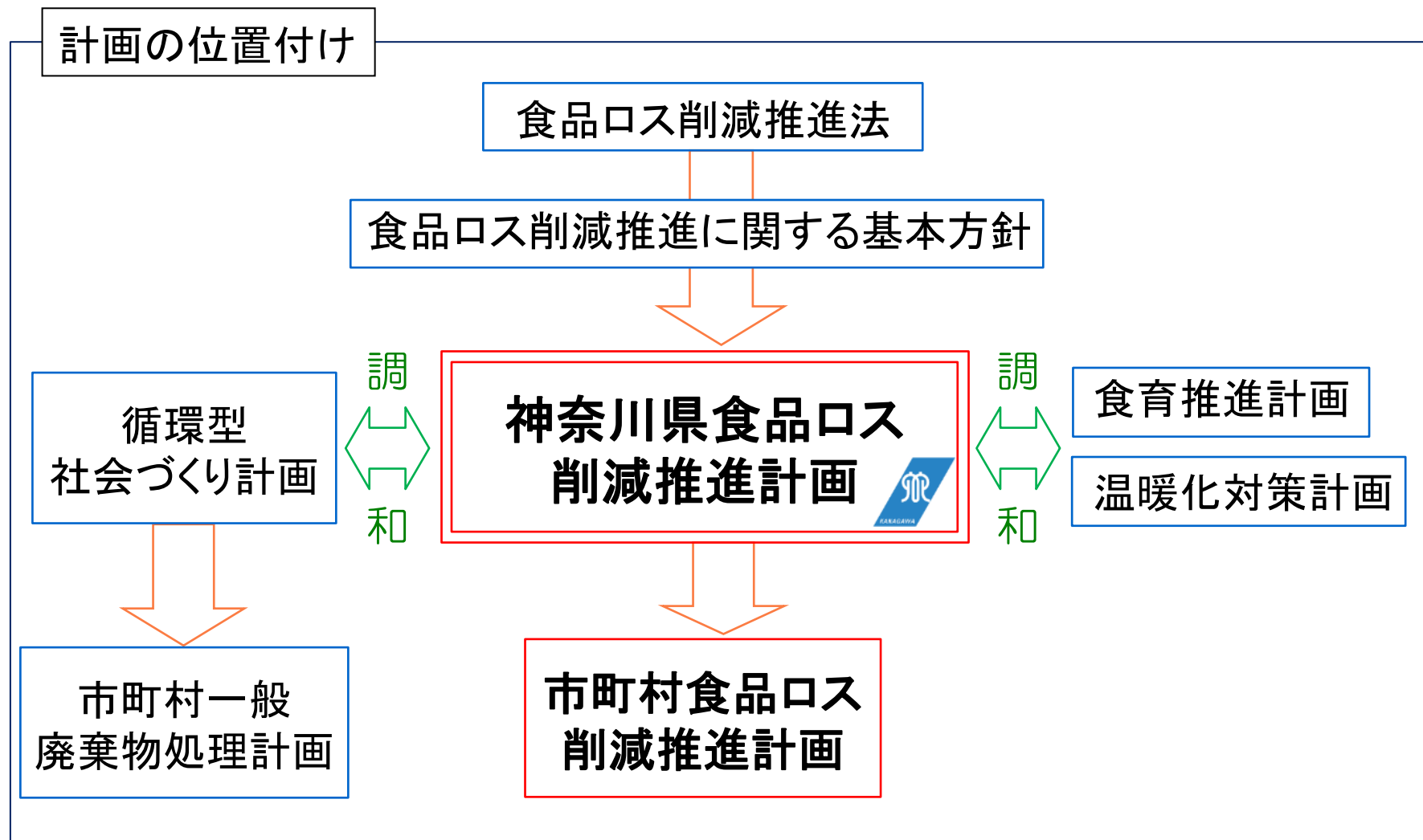


食品ロスを
削減に向け

「自分事」 として捉え、
「実践」 することが必要

3 食品ロス削減に向けた施策

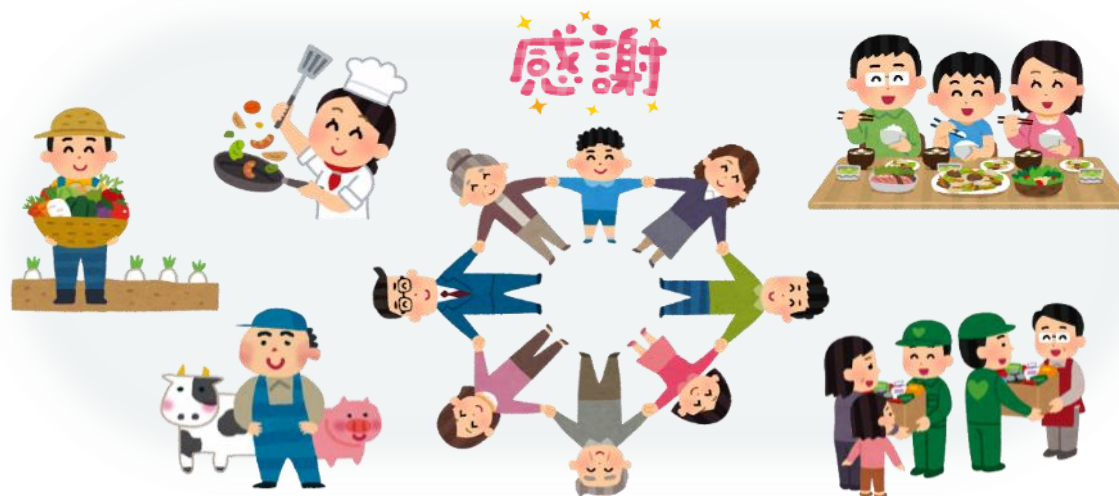
【神奈川県食品ロス削減推進計画】



神奈川県食品ロス削減推進計画

計画の目指す姿(基本目標)

県民1人ひとりが、食べ物を無駄にしない意識を持ち、食品ロスの削減を「他人事」ではなく「**自分事**」として捉え、食品ロスの削減の取組を「**実践**」する社会の実現を目指す。



食品ロスの削減目標

【国】

家庭系食品ロス※1、事業系食品ロス※2ともに、
2000年度比で2030年度までに、

食品ロス量を半減させる

※1 第四次循環型社会形成推進基本計画

※2 食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針

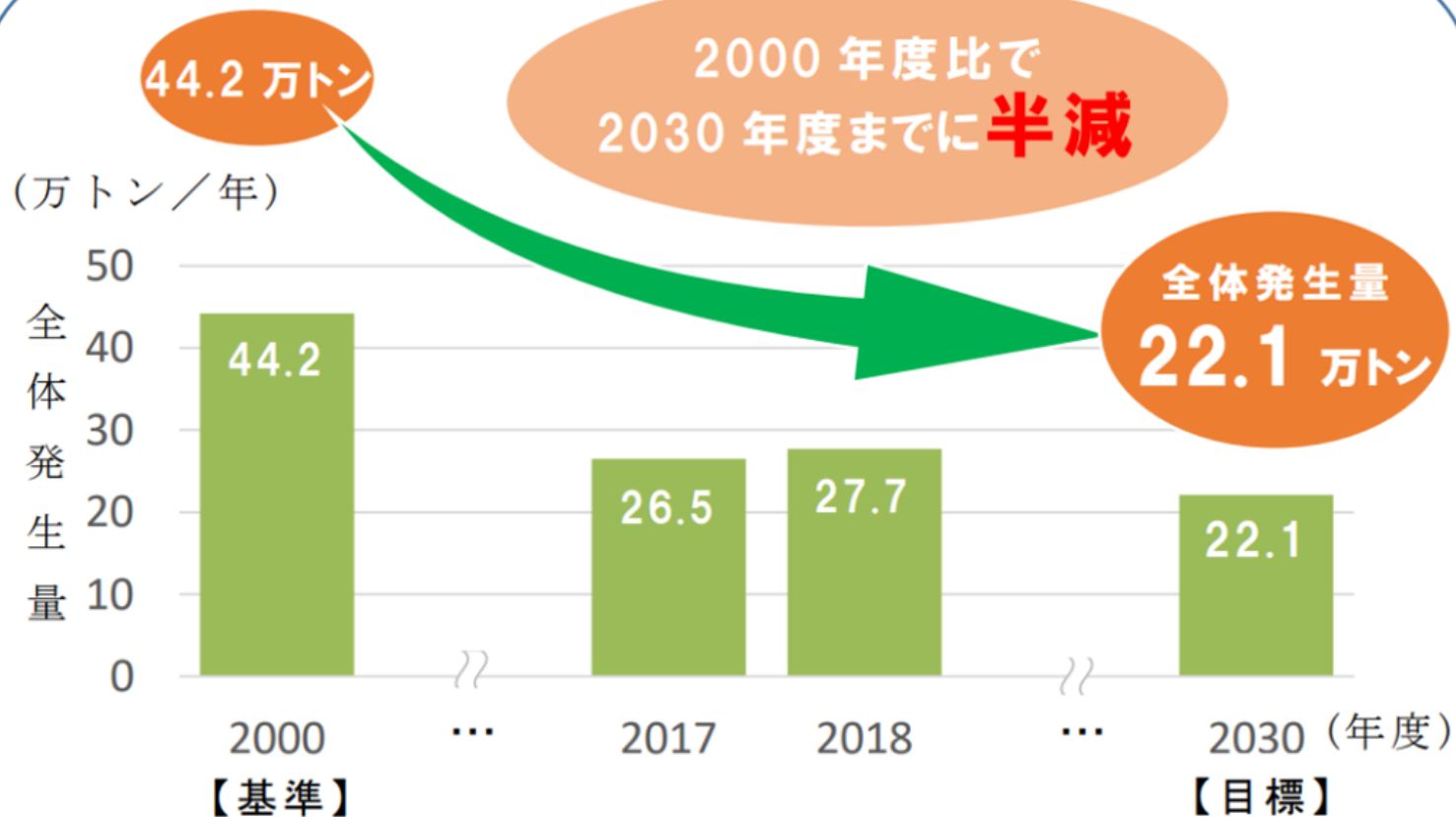


【神奈川県】

国の数値目標を踏まえ、削減目標を設定

食品ロス削減目標（事業系食品ロス）

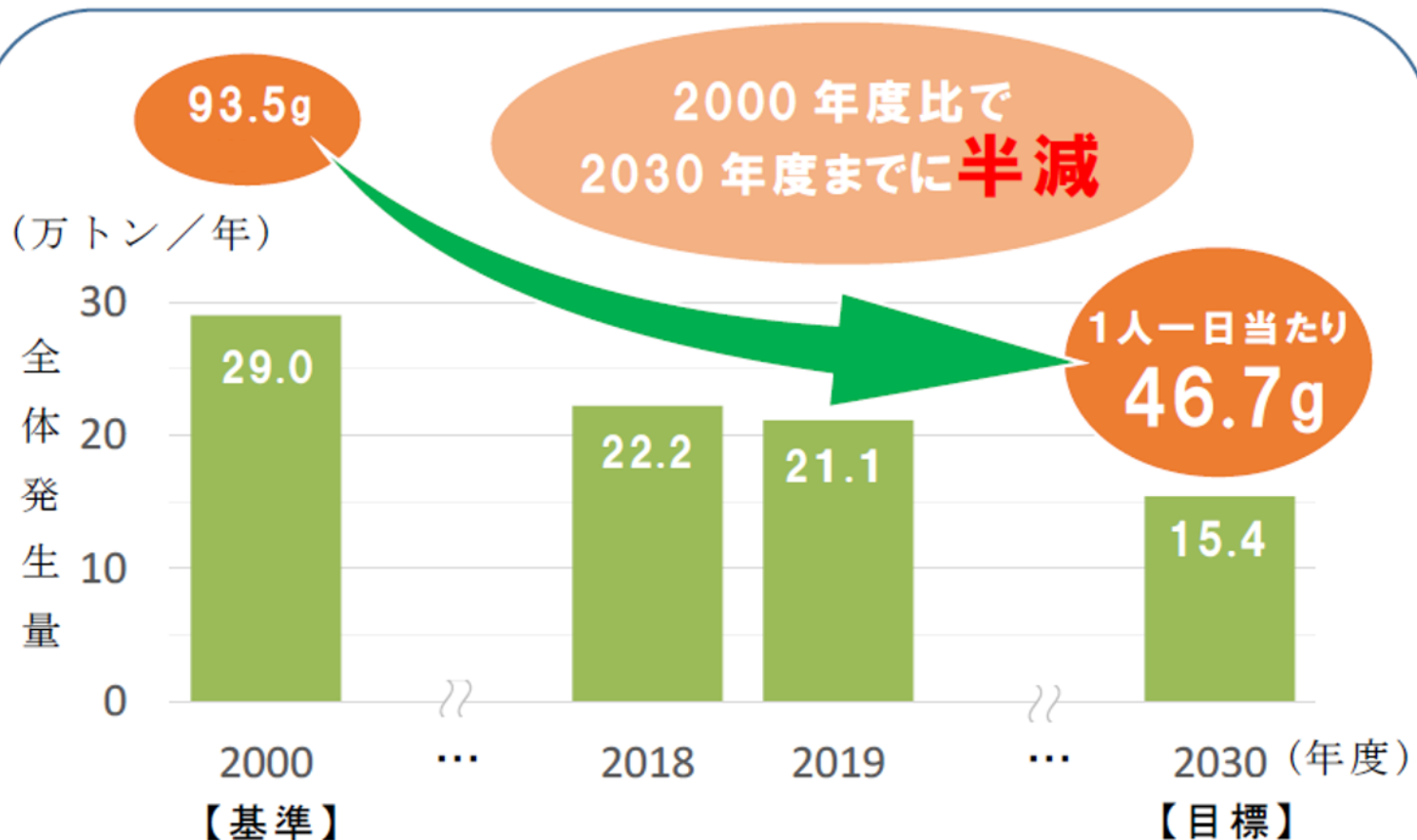
県内で発生する**事業系食品ロス量**を、
2000年度比で2030年度までに**半減**



本県の事業系食品ロス削減ロードマップ

食品ロス削減目標（家庭系食品ロス）

県民1人1日当たりの**家庭系食品ロス量**を、
2000年度比で2030年度までに**半減**



本県の家庭系食品ロス削減ロードマップ

3 食品ロス削減に向けた施策

教育及び学習の
振興・普及啓発等

食品関連事業者等の
取組に対する支援

未利用食品を提供する
ための活動の支援等

3 食品ロス削減に向けた施策

教育及び学習の振興・普及啓発等

- 食品ロスの削減に対する
県民意識や社会的機運の醸成
- 地域等において食品ロスの削減
を担う人材の育成
- 学校の教科等を通じた食品ロス
削減に関する理解と実践

3 食品ロス削減に向けた施策

食品関連事業者等の取組に対する支援

- 商慣習見直し等の推進及び事業者の取組に対する消費者理解の促進
- 規格外や未利用の農林水産物の活用促進

3 食品ロス削減に向けた施策

未利用食品を提供するための活動の支援等

- フードバンク活動の推進
- 災害時用備蓄食料の有効活用

フードバンク活動の推進

食品ロス削減への寄与だけでなく、生活困窮者や子ども食堂の支援等、福祉的な観点からも意義のある、フードバンク活動について、積極的な普及啓発を実施する。

《主な取組》

○フードバンク活動が県内全域で行われるよう、市町村や関係団体と連携しながら、フードドライブ活動を推進。



ご清聴、ありがとうございました。

